

企業経営をトータルサポートする

長野法人会報 April 2009 4



経営者シリーズ●トップかく語りき

Takeshi Koumori

幸森 武史氏株式会社フジテック
代表取締役

株式会社フジテック
長野市三本柳西2-35
TEL 026-285-2553 FAX 026-283-0429
創業 昭和38年6月
資本金 2,000万円

社内で回覧しましょう!

仕事の魅力を伝え、子どもたちに夢を与える。

「この道路、信号がない交差点でもほとんど事故がないんですよ。それは事故が起きないように設計しているから。利用する人が喜ぶ安全な道づくりを第一にしているんです」

きれいに整備された新興住宅街、長野市三本柳西にあるフジテック本社。建設コンサルタントとして、この地区の区画整理事業を手がけた幸森武史社長は社屋に面した道路を指さしながらそう話す。元気いっぱいの笑顔とともに。

同社が手がけるのは、河川、道路、橋、下水道などの土木施設、環境・景観整備、都市計画・地域開発。現場で測量などの調査を行い、経済効果、安全、景観などに考慮して設計し、立ち退きなどの交渉も行う。道路や

橋などの建設を企画・立案する行政を川上、実際に施工する建設会社を川下とすると、中流に位置する仕事だ。「言ってみれば、**プラモデルの設計図をつくるような仕事です(笑)**」。

現在進めているのは、長野市中央通り(新田町～大門)の新たな街並みづくり。企画構想の段階では思い切ったアイデアも検討するなど、自由な発想を活かして活気あふれるまちづくりをめざす。

「長く残るものだし、技術力も問われるだけに、立派な成果をあげようと張り切っています」

「我々の仕事はなかなか一般に理解されないのが悩み」と幸森社長。そのため、災害支援活動、美化・清掃活動等のボランティア活動、幅広い年齢層を対象にした環境講習会、防

災教育など、業界での**社会貢献活動**にも力を入れる。小学生向けに仕事内容を分かりやすく説明した本を作り、小学校に寄贈するなどの活動もその一環だ。

「自分たちの仕事の魅力を伝え、子どもたちに夢を与える」という気持ちからです。我々は単に良い仕事をするだけでなく、市民とのコミュニケーションをしていく工夫も必要だと思っているんですよ」

趣味は新潟の海で楽しむジェットスキー。28歳の時に始め、20年のキャリアを持つ。「今は地区の野球大会でケガをして休んでいますが、調子が出てきたら再開しようと思っています」。

その話しぶり同様、ライディングもきっと豪快なことだろう。

回覧

シリーズ **人** **企業** **モノ**

ワインは人生の「友」
北村 秀雄さん

善光寺にほど近い老舗酒屋の3代目である北村秀雄社長は、シニアワインアドバイザー（流通業界のソムリエ）の肩書を持つ。

大学卒業後、家業を継ぐ前に勤務したビルメーカーで運命的にワインと出会った。「ボトルの後にいるストーリーの奥深さに魅了されました。多くの人にこの魅力を伝えたいと思うようになったんです」。

ワインを知りたい一心で、ひたすら飲んでは勉強し、ワインアドバイザーの資格を取得した。2001年開催の日本選手権では見事優勝。筆記、テイスティング、実践ながらの接客応対試験をクリアし、日本のワインアドバイザーの頂点に立った。

アイビースクエアにこだわりの店を出して7年。現在は長野県原産地呼称管理制度の審査員でもある。「ワインとの出会いは人と同じ。気になる人がいたら、もっと深く知りたくなるでしょう。そうして生まれや特徴を知つていい。型にはまる必要はないんですよ」。輝かしい肩書を持ち、大柄で併用のような迫力を持つ北村さんから出た、肩の力を抜いて良しとする意外なアドバイス。求めるお客様の話をよく聴きながら、身の丈にあったワインの楽しみ方を広げてくれる、チャンピオンの真骨頂を見た。


Cellar KITAMURA

（有限会社 北村酒店）
長野市南千歳1-3-7 アイビースクエア1F
TEL 026-266-7707 FAX 026-266-7708


ネットショップで長野を元気に
YUMA

早くからインターネットビジネスに着目し、2000年に雑誌掲載商品などのショッピング代行サービスサイトを立ち上げた。地方にいながら最新のファッショニアイトを購入できるという、インターネットの利便性を見事に捉え、第1回信毎ホームページ大賞に輝く。以来、長野市を中心につまざまな業種のホームページ制作を手がけている。

一方、「YUMA'S Select Shop」というネットショップも展開する。リピーターが多いという男性用オーダーシャツやビジネスアクセサリー販売に加え、2009年3月にはイタリアブランドのバッグや小物を集めた女性向けのショップを開設した。市内の卸売業者と提携し、ファッショニアドバイザーが厳選した商品を手頃な価格で販売する。注文や問い合わせへの迅速な対応はもちろん、アイテム別に着こなしのポイントを紹介するなど、ファッショニアドバイザーのブログも併設。「顔が見えないからこそきめ細かな対応が大切」と水橋由香子社長は語る。

「ネットによって市場は全国に広がりますが、継続が難しい。私たちのノウハウでそこをお手伝いしたいんです」。ネットショップで長野をもっと元気にしたいと意気込みを見せる。


株式会社 YUMA

長野市高田2313-5
TEL 026-222-2117 FAX 026-222-5749
<http://yuma.world.coocan.jp/shop/>


お年寄りの行動範囲を広げる
**セニアカー
(ハンドル型電動車いす)**

歩道をゆっくり走る電動四輪車に乗る人を見かける。その乗り物が、普及が進むセニアカー（ハンドル型電動車いす）だ。

最高時速6キロ、人の歩歩程度の速さで移動する。家庭用のコンセントからバッテリーに充電し、1回のフル充電で20キロ程度の走行が可能で免許は不要。「足は弱いが車いすに頼るほどではない」セニアの外出の足として人気上昇中だ。

実は通信販売などで購入したもののがいこなせない購入者も多いという。長野セニアカー販売の田中昭光社長は「利用開始時には操作方法、安全教育などを繰り返し指導してもらうことが絶対に必要。不十分な知識は事故につながってしまう」と心配する。

同社では利用者と一緒に道を歩きながら運転指導するなどのアフターサービスを欠かさない。また購入検討時に運転の適性を見るチェックシートも独自に作成している。購入者の安全を守る真摯な取り組みは警察庁交通局長から表彰されるほどだ。

街の活性化のためにも「タウンモビリティ」を提唱する田中社長。高齢者がいきいきと暮らせる街づくりに役立つアイテムに自信を深めている。


有限会社 長野セニアカー販売

長野市宮沖3528-4
TEL 026-291-4250 FAX 026-291-4210